



大村健二 先生 おススメ！ リハ栄養金沢のB級グルメ情報 FOOD PLAN



金沢は美食の街としても知られています。郷土料理にその地名が冠せられるのは「加賀料理」と「京料理」だけであり、金沢の食が一目置かれていることがわかります。また、金沢には多くのB級グルメの名店もあります。このコーナーでは学会場近辺を中心に金沢の食の名店をご紹介します。



ご当地ラーメンを食べよう！



名物カレーは？



地元のおでんに触れよう！

おススメ店は？

大村先生のおススメ店は、こちら！



八番ラーメン

1967年、加賀市の国道8号線沿いで創業した老舗ラーメン店。坦々麺や唐麺もあるが人気は塩、醤油、味噌の野菜ラーメン。たっぷりの野菜がトッピングされ、どれも創業時から変わらない懐かしいあっさり味。「なんでやろ、8番」のキャッチコピーを知らない金沢人はいないほどで、「どうしてまた食べたくなるんだろう」の意が込められている。餃子と唐揚げも人気。豚骨ラーメンが全国区となり、魚介系、家系、鶏ラーメンなどラーメンの多様化が進む昨今、金沢人は深い8番らーめん愛を胸に秘めている。野菜たっぷりである以外特に特徴のない8番らーめんであるが、「なんでやろ、8番」のCMには笑って頷いてしまう。学会場からは国道157号線を片町方向に進み、徒歩10分の国道沿い右手に犀川大橋店。



カレーのチャンピオン

元祖「金沢カレー」で、創業は1961年に遡る。金沢カレーという呼称を使い始めたのはゴーゴーカレーだが、楕円形で金属製の器に白飯を敷き詰め、それが見えないほどにカレーソースをかけ、端に千切りキャベツ、定番のトッピングはとんかつという形はカレーのチャンピオンが確立したものである。ちなみにゴーゴーカレーの創業の地は新宿で2003年に1号店を出店、金沢への出店を果たしたのはその2年後である。カレーのチャンピオンの定番はLカツ（カレー）で、いつでもサービス価格なので定価は不明である。レトルトには甘口と中辛があるが、お店では甘口を見たことがない。辛いもの好きの大人から子供まで十分満足できる不思議な味付けのカレーは、金沢へ行くと無性に食べたくなってしまう。学会場からは国道157号線を武蔵が辻方向に進み徒歩8分、近江町いちば館B1にカレーのチャンピオン近江町店。



おでん、黒百合

学会場からはバスで金沢駅へ。駅ビルの百番街内。金沢駅ビル百番街にある金沢おでんの人気店。行列は必至であるが番号札が発行され、順番が来たら携帯に電話をかけてくれる。金沢のお土産のほとんどを購入できる百番街でウィンドショッピングを楽しみながら待てるのはうれしい。おでんはパイ貝、車麩、鰯のつみれ、がんもなどがお勧め。変わりダネはロールキャベツ、シューマイで、なるほどの美味しさ。金沢のおでん屋さんには「どて焼き」なるメニューがある。串に刺した豚肉やこんにゃくを焼くというより煮て、甘い味噌で味付けたものが多い。黒百合ではコショウがかかって供される。お刺身や能登のもずく、金時草のおひたし、白山の堅豆腐の刺身なども美味。アジフライはすごいボリュームなので注意が必要、生ビールの大ジョッキ有り。